

令和6年度 自立支援セミナー

主催 千葉県知的障害者福祉協会

よわい 「**齢を重ねて～輝き続ける～**」

よく高齢化への「対策」という言葉が使われます。「対策」という緊迫したイメージだけで支援して良いものでしょうか。今回のテーマは知的に障害のある方の高齢化を悲観せず、もっと前向きに捉える実践をお聞きし、「最高の人生」の支援のあり方を一緒に考えたいと思います。後半は、ピアニスト辻井伸行さんのお母様の辻井いつ子氏より「子どもの才能をいかに見つけて伸ばすか」についてご講演いただきます。

- 開催日 令和7年2月15日(土) 受付12:30～
- 場所 千葉県教育会館 大ホール
千葉市中央区中央4丁目13番10号
- 参加費 1人2,000円 ■定員 500名
- 対象 一般 施設職員 保護者 教育・行政関係者
- 申込締切 令和7年1月31日(金)

13:00 開会挨拶 千葉県知的障害者福祉協会 会長 里見 吉英

13:20 福祉施設を利用するご利用者様の高齢化をどう支えるか
司会 大利根旭出福祉園 施設長 山之内 俊雄 氏

実践1 障害者支援施設から 北総育成園 園長 白樫 久子 氏


実践2 グループホームから グループホーム野栄
地域支援 部長 島田 正仁 氏

14:20 「親の終活勉強会～親の想いをつなげる為に」
一般社団法人 親泉会 代表理事 田村 紀子 氏

14:50 「まとめ」

15:20 10分休憩

15:30 講演「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」 辻井 いつ子 氏
(ピアニスト辻井 伸行さんのお母さま)



フリーアナウンサーとして活躍後、結婚。1988年に長男・伸行さんが生後まもなく全盲とわかり、絶望と不安のなか、育児書や子育てマニュアルが全く役に立たないところから、手探りで子育てをスタートする。「明るく、楽しく、あきらめない」をモットーに、つねに子どもの可能性を信じ、よく見て、ほめる「親ばか」の育児で、生後8か月で伸行さんの音楽の才能を見つけ、プロのピアニストへと二人三脚で歩む。その結果、2009年6月、アメリカで開催された第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで伸行さんは日本人初の優勝を果たす。その後、自身の経験をもとに全国で講演活動を行う。主な著書に、伸行さんが演奏する10曲が収録されたCDと、それぞれの曲にまつわるエピソードを書いた本がセットになった『今日の風、なに色? CDブック』(アスコム)がある。

17:00 閉会

セミナーに関するお問い合わせ みらい工房(平井) 043-488-4649

令和6年度 自立支援セミナー 参加申込書

千葉県知的障害者福祉協会研修委員 平井 行き

FAX： 043-488-4139

令和7年1月31日（金）までにお送りください。

申込日 令和 年 月 日

所属団体名 _____

申込者氏名 _____

電話番号 _____

氏名	所属（○で囲んでください）
1	一般・保護者・行政・教育・施設・その他
2	一般・保護者・行政・教育・施設・その他
3	一般・保護者・行政・教育・施設・その他
4	一般・保護者・行政・教育・施設・その他
5	一般・保護者・行政・教育・施設・その他
6	一般・保護者・行政・教育・施設・その他
7	一般・保護者・行政・教育・施設・その他
8	一般・保護者・行政・教育・施設・その他
9	一般・保護者・行政・教育・施設・その他
10	一般・保護者・行政・教育・施設・その他